

1：今年度のiPadの活用目標と活用状況

(1) 今年度の目標

- ・ 本校に在籍する筋疾患（主に筋ジストロフィ）及び脳性まひ等の児童生徒にとってのA T、I C Tの利活用とは何か、ipadの活用を通して考える。

(2) 活用状況

- ・ 各類型ごとに約3ヶ月のスパンでipadを貸し出し、学習面及び生活面で活用できそうなアプリケーションを各自でインストールさせながら使用させている。

↓

<今までの活用状況>

- ① 高等部A組（筋・神経疾患を有する生徒のクラスで、準ずる教育を中心とした教育課程のクラス）
 - ・ 5～7月の3ヶ月間、クラスに貸し出して使用させた。なお、本プロジェクトの主旨やアプリケーションの探し方などについては、5～6月の2ヶ月間、週に1時間設定されている「総合的な学習の時間」で、本校のプロジェクト担当が授業として実施した。

※具体的な活用場面については、「2：現在活用しているアプリケーション」で詳しく説明させていただきます。

- ② 高等部B組（主に筋・神経性疾患と知的障害等を併せ持つ生徒のクラス（重複学級））
 - ・ 9～11月の3ヶ月間、クラスに貸し出して使用させている（現在使用中）。アプリケーションの探し方、個々の生徒に合ったアプリケーションの紹介等は、週に3時間設定されている「情報」の授業の中で伝えている。なお、本クラスでは、約2ヶ月のスパンで本プロジェクトに関する学習を単元として扱っており、11月中旬の公開授業で、学習の結果をプレゼンテーションする予定である。

※ 具体的な活用場面については、「2：現在活用しているアプリケーション」で詳しく説明させていただきます。

- ③ 高等部C組・中学部A組・小学部B組（自立活動を中心とした教育課程を編成しているクラス（重複学級）／筋疾患及び脳性まひの児童生徒が在籍）
- ・ 11月～12月の2ヶ月間、各クラスに貸し出す予定。

2：現在活用しているアプリケーション

(1) Dropbox

- ・ 高等部A組の生徒が、近隣の高等学校との交流（生徒会同士の交流会）の際に、議案書を見たり、会議録を作成するのに使用しました。
- ・ 担任が生徒用ファイルサーバーに必要なデータをPDF形式で保存し、そのデータを、生徒が自分のパソコン内の Dropbox 上に保存した上で、ipad の Dropbox でデータを使用しました。校内に無線LANが整備されている環境であれば、おすすめできるクラウド系のソフトの一つです。



(左の写真／Dropbox で生徒会の議案書に読んでいる様子、右の写真／生徒会の書記として、ipad で会議録を書いている様子)

(2) お絵描きパッド

- ・ 高等部B組の生徒が、主に美術の時間に使用しています。バーチャルのクレヨン、マーカー、筆、色鉛筆、シールなどが用意されており、直観的に ipad で絵を描くことができます。
- ・ 筆で絵を描くことはできる、しかし、筆を持ち替えることが難しい本校の筋ジスや脳性まひ等の生徒にとっては、なかなか好評のアプリでした。道具を用意しなくても、ipad一つで様々なツールを使うことができ、場所や時間等を気にすることなく絵を描くことができるのも良いと思います。



(右の写真／スタイラスペンを使っでの描画、右の写真／指を使っでの描画)

(3) UTAMO (※iphone アプリ)

- ・ 休み時間や昼休みに、クラスメイトや教職員と一緒に、自分たちの好きな歌を歌って楽しんでいる。ipad の画面に歌詞が映し出されるので、全員で歌詞を確認しながら歌えるのが良い。
- ・ 250 円のアプリで約 1 万曲もカラオケができるのは、かなりお得だと思います。演歌から最近の歌謡曲までジャンルも豊富で、教師も生徒も一緒にカラオケを楽しんでいます。このアプリは、知的障害の特別支援学校などでは音楽の授業や余暇活動等でも活用できるのではないかと思います。